

連合も、4月1日の合併で、新西尾市に統一されますので、今議会が、最終議会となります。そこで、これまで、連合議員になるたびに質問を続けてきた「地震災害時の対策」について、15項目を質します。

前回質問は平成17年でしたので、その後の改善、事業進捗などもありましょうし、平成19年には「地震防災施設整備計画」も作成されていますので、それらの内容を踏まえて、現状を確認し、新市に活かしていきたいと願うものです。

質問は、2月22日(火)午前10時から、吉良町のクリーンセンター3階。質問者は、私ひとりなのですが(残念…)、どうぞお越し下さい。

<議題1. 上水道の地震災害時の対策について>

- 1) 配水池等、各施設の耐震化の状況は、どのような
- 2) 水道管の耐震化率は、どれほどか
- 3) 法定耐用年数を超えた老朽管の割合である「経年化率」は、どのような
- 4) 災害時に給水可能な応急給水支援設備(県水)は、西尾市内8カ所、吉良町で1カ所だが、現状で十分なのか
- 5) 一色町・幡豆町でも、給水可能な施設整備はどのような
- 6) 被災直後に必要な仮設給水栓はどのように整備されているのか
- 7) 平成19年に策定された「地震防災施設整備計画」では、一色町、吉良町、幡豆町には飲料水兼用耐震性貯水槽が必要とされているが、それぞれどのような
- 8) 民間も含めて、飲料可能な井戸の所在の把握が必要と思うがどうか
- 9) 広域連合には、給水車が1台、給水タンクは5基のみであり、西尾市・吉良町が保有する給水タンク12基もそれぞれ1～
 1. 5立方メートルだが、これで十分と考えるか
- 10) 西尾市民病院へは、直接給水が可能ときくが、病院敷地内で取水できるのか
- 11) 市民病院以外への医療機関への給水体制はどのような
- 12) 定員適正化計画よりも早いペースで職員の減員が進んでいるときくが、災害時の統括に困ることはないか
- 13) 平常時にも災害時にも非常に有効な「上水道管理システム」導入を平成21年度に検討するとされていたが、現状はどのような。経費はどれほどと見込んでいるか
- 14) 「地震防災施設整備計画」は、総事業費150億円、平成32年までの計画であり、新市に受け継がれるものと思うがどうか
- 15) 同計画では、事業優先度の高い順に、今後5年間に80億円が必要ときくがどうか。その内容はどのような